

まつやま 景観賞	景観に興味を持っていただき、一緒に松山の景観を良くしていくことを目的として、市内の良好な景観を形成している建築物や屋外広告物、まちづくり活動などを表彰するもので、今回で14回目を迎えます。	
募集期間	令和5年12月1日(金)から令和6年5月31日(金)まで (当日消印有効)	
応募方法	<p>下記の必要事項を記入して、 〒790-8571 松山市二番町四丁目7-2 松山市役所6階 都市デザイン課内 『第14回まつやま景観賞事務局』 まで、持参・郵送・電子メール・FAX・応募フォームで応募してください。 ※持参の場合は、平日午前8時30分から午後5時まで(土日・祝日・年末年始を除く)</p> <p>【必要事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 応募(推薦)者の住所、氏名、連絡先(電話番号やメールアドレスなど) ② 応募(推薦)する部門名 ③ 応募(推薦)する物件・活動などの名称・所在地・完成(活動)時期など ④ 応募(推薦)の理由(良好な景観をつくり出している点など) ⑤ 可能であれば、応募(推薦)に対する所有者・活動者の許可の有無(許可を受けている場合はその方の連絡先) ・建築物やまちづくり活動などの様子が分かる写真や資料 ・応募する物件などの位置情報 <p>※応募(推薦)の際に知り得た情報は、本賞に関わることにのみ利用し、目的外の利用はいたしません。</p>	
応募資格	どなたでも、1人何点でも応募できます。 ※居住地や自薦・他薦も問いません	発表 (予定) 令和6年9月上旬に受賞者に直接通知します。
選考等	<p>事務局による関係法令等審査や松山市景観審議会(景観賞審査部会)による選考を経て決定します。</p> <p>●きらめき大賞(1点) ●きらめき奨励賞(各部門1点) ●審査員特別賞(該当する場合のみ)</p> <p>※受賞物件・活動の所有者、設計者、施工者、活動団体等には、表彰状等を贈呈します。 ※ご応募(推薦)いただいた方の中から抽選で10名様に記念品を贈呈します。 ※受賞物件・活動は市ホームページ等による発表のほか、本市景観形成に係る事業で使用します。</p>	
部門	<p>【建築部門】：松山市内にある建築物・工作物・屋外広告物などで次のどれかに該当するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ■周辺景観に調和したデザインで、魅力ある景観を創出しているもの ■意匠・形態・色彩・材料等に工夫が見られ、新しい都市景観の創造につながっているもの ■オープンスペースなど魅力ある空間を創出し、地域景観の向上に貢献しているもの ■周囲への先導的役割が期待できるなど景観形成に貢献しているもの など <p>例) 個人住居・マンション等の建物、病院・介護等の医療施設、飲食店・美容室等の商業施設、装飾塔などの工作物、 屋上や壁面を利用した広告板・広告塔・突出し看板、広告幕・野立て広告板・広告塔、ラッピングされた車両や電車など</p> <p>※はり紙・のぼり等簡易なものは除く ※『国、若しくは、地方公共団体、又は、これらが設立した団体が施工したのも対象』です。</p> <p>【まちなみ・まちづくり部門】：松山市内にあるまちなみ・街路地等の景観もしくは活動・イベントなどで次のどれかに該当するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ■松山市の自然風土や歴史、文化に調和し、将来にわたり守り育てていくべき優れた景観であるもの ■地域住民が主体となった活動やイベントなどで、先駆的な役割が期待でき、地域の個性や魅力ある景観を維持・活用するために取り組んでいるもの(現在も継続しているものに限り) など <p>例) 歴史的建造物・旧家などが連なる風情あるまちなみ・沿道・住宅街景観、地域緑化や清掃活動・イベントなど</p>	

応募・問合せ先

〒790-8571 松山市二番町四丁目7番地2
松山市都市デザイン課(第14回まつやま景観賞事務局)
TEL:(089)948-6848 FAX:(089)934-1807
電子メール:toshikeikan@city.matsuyama.ehime.jp

※応募フォームについて、システムメンテナンス等により応募できない場合があります。
ご不便をおかけしますが、あらかじめご了承ください。



▲市ホームページ
はこちら



▲応募フォーム
はこちら

第14回

まつやま景観賞

募集

令和6年5月31日まで
募集期間

第13回 まつやま景観賞 受賞物件・活動 (敬称略)

応募(推薦)件数 70件

きらめき大賞

いげつあん 伊月庵



所在地	松山市道後湯月町
所有者	株式会社 夏井&カンパニー
設計者・施工者	株式会社 デザインアルポー

【選考会長 講評】住宅の中に小さなパブリックスペースを持って、大きな公共建築では得られない、身近なところに誰でも気軽に立ち寄れる、活気の出る場所を作り出していることや、2つに分けて建築することで大きな塊にせず、格子の外観やスロープなどの集合、スケール感の良いその作り方が評価されました。建築はそのものの質やデザインはもちろんのこと、景観や環境への配慮などトータルで考えるものだと思います。これからの松山を引っ張っていくような、松山の先のイメージが描けるような建築に大賞を贈ることができて嬉しく思います。

きらめき奨励賞 (建築部門)

うず ぱんや雲珠



所在地	松山市東野1丁目
所有者	村上 淳、村上 未実代
設計者・施工者	株式会社 Re・lation

【選考会長 講評】行き交う人が思わず立ち止まってしまうようなユニークでアートの建築が市民の皆さんから推薦され、また、こうして奨励賞に選ぶことができたことに、松山というまちに新しいものを引き入れる、これまでにない新しい風が吹いていることを感じました。松山が未来に向かって拓けていく新しい建築を期待していることが市民の皆さんに伝わる受賞になったと思います。

きらめき奨励賞 (まちなみ・まちづくり部門)

あわじがとう 淡路ヶ峠



活動場所	松山市畑寺町
受賞団体等	桑原地区まちづくり協議会 淡路ヶ峠遊歩道整備管理協議会 桑原まちづくり応援団

【選考会長 講評】淡路ヶ峠からの眺望はもちろんのことですが、登山道や展望台は整備が行き届き、地域の皆さんが淡路ヶ峠を守ろうとする真剣さや誠実さが高く評価されました。自然豊かな松山にはこういった場所がまだまだ埋もれている、活動的に楽しめる場所がもっとあるのではないかと思います。ますます地域主体のまちづくりが活発となり、これからも多くの活動が表彰できることを願って奨励賞を贈りたいと思います。

※受賞物件・活動に対する講評は、選考会長の長谷川逸子様(長谷川逸子・建築計画工房 主宰)からいただいています

審査員特別賞

特別養護老人ホーム 梅本の里・サテライト

所在地	松山市平井町
所有者	社会福祉法人 松山紅梅会
設計者	宮田建築設計室 株式会社
施工者	株式会社 杉野工務店



【選考会長 講評】木格子が黒い外観に明るさを与え、大きい建築物でありながらも落ち着いた雰囲気のある建築物や、地域との連続性を感じさせる芝生スペースの配置、地域に開放されているレストランやベンチなど、施設と地域の繋がりを意識したバランスの良さが評価されました。コロナ禍での活動制限にもどかしい思いをされているとお聞きしましたが、小さなコミュニティが生まれ、育まれる場所として大切にしていきたいと思っています。

審査員特別賞 道後久保邸及び離れ

所在地	松山市道後湯之町
所有者	久保 功
設計者・施工者	三森建設 株式会社



【選考会長 講評】松山のシンボルである道後地区において、観光客だけじゃなく市民の皆さんにもその歴史を感じてもらえるよう伝統建築の保全を図りながら、内部をうまくリフォームして活用を図っている点が評価されました。まちの歴史と建築を残していこうとすることでまちづくりにも厚みが生れます。松山だからこそ伝統建築をとの思いもありましたので、選ぶことができて嬉しく思います。

まつやま景観賞 過去の受賞物件・活動 (第8回~第12回)



第8回大賞 社会福祉法人 松山紅梅会 梅本の里・小梅
第8回奨励賞(建築部門) 労研機頭
第8回奨励賞(まちなみ部門) 三番町通りの八重桜
第8回奨励賞(まちづくり部門) 蛸の里(石手二丁目)



第9回大賞 森の回廊-L∞P-/大谷歯科矯正歯科
第9回奨励賞(建築部門) サテライト型特別養護老人ホームあやめ荘
第9回奨励賞(まちなみ・まちづくり部門) 宅並山を育てる会(小川)



第10回大賞 田中屋
第10回奨励賞(建築部門)・審査員特別賞 芋屋金次郎
第10回奨励賞(まちなみ・まちづくり部門) 旧濱田医院



第11回大賞 宝荘ホテル 道後御湯
第11回奨励賞(建築部門) ミウラ愛ランド ミウラ愛サイト
第11回奨励賞(まちなみ・まちづくり部門) トライアスロン中島大会
第11回審査員特別賞 花園町通りまちづくり活動



第12回大賞 道後温泉 空の散歩道
第12回奨励賞(建築部門) 道後温泉 葛城 琴の庭
第12回奨励賞(まちなみ・まちづくり部門) 俳句甲子園
第12回審査員特別賞 ひみつジャナイ基地
ビクチャーブックライブラリー くらら

募集内容の詳細は裏面をご覧ください

- ☑️ 誰でも応募可能 (居住地、自薦・他薦を問わず)
- ☑️ 1人何点でも応募いただけます
- ☑️ 応募(推薦)者には抽選で記念品を贈呈

これまでの応募件数
762件

※受賞物件の写真や名称等は受賞当時のものです。